

だい ぶ かだい
第5部 課題

だい かい
第16回

まいにち にゅうりよく
毎日パソコン入力コンクール

ぜんこくたいかい
全国大会

か だい
【課題】

だい ぶ わぶん しょうがくせいとい ちゅうがくねん
第5部 和文A 小学生低・中学年

かんようく
ことわざ・慣用句①

せいげんじかん ぶん
制限時間5分

とうじつ ちゅういじこう
【コンクール当日の注意事項】

1. けいぎいいん しじ しょうし て ふ
競技委員の指示があるまで、この用紙に手を触れないでください。
2. けいぎいいん しじ けた さんかばんごう はんかくすうじ にゅうりよく
競技委員の指示にしたがい、18桁の参加番号を半角数字で入力してください。
3. かだい にゅうりよく ぜんかくもじ かいぎよう じすう かぞ
課題の入力はすべて全角文字でおこなってください。スペースと改行も字数に数えます。ただし最終行はのぞきます。

さんこうぶんけん しょうがくかん かんようく じてん もじすう じていど
※参考文献：小学館 慣用句びっくりことば事典（文字数1,570字程度）

かだいぶんしょう きんそくもじ
〈課題文章の禁則文字について〉

まいにち にゅうりよく いんよう ぶんしょう げんぶん と こ
毎日パソコン入力コンクールでは、引用した文章を原文のままソフトに取り込んでい
るため、ぎょうとう ぎょうまつ きんそくもじ く ばあい かだいぶんしょう
行頭、行末に禁則文字が来る場合があります。課題文章のPDFファイルど
おりに入力すると正解になります。

しゅさい
主催

まいにちしんぶんしゃ
毎日新聞社

いっばんしゃだんほうじん にほん のうりよくけんていいいんかい
一般社団法人 日本パソコン能力検定委員会

こうえん
後援


そうむしょう
総務省


もんぶかがくしょう
文部科学省


こうせいろうどうしょう
厚生労働省


けいざいさんぎょうしょう
経済産業省ほか

1行28字詰で、つぎの文章を入力してください。


※  の箇所で行 (Enter) してください。


^{みみ}耳をかたむける 


^{いっしょう}一生けんめいに、ちゅういして聞こうとする。 

^{あき}秋の夜は、^{よる}虫のなき^{おし}声に^{ごえ}耳をかたむける。 




おねに^て手をおく 


よく^{かんが}考えること。 

おねに^て手をおいて、これまでの^{せいかつ}生活をはんせいする。 





したつづみをうつ 


おいしいものを、よくあじわうようす。 

^{はは}母の^{てづく}手作りのケーキをしたつづみをうちながら^た食べる。 





うでをふるう 


^{じぶん}自分の^{ちから}力やうで^{じゅうぶん}まえを^{あらわ}十分に表す。 

イラストのとくいなかれば、^{がっきゅうしんぶん}学級新聞でうでをふるっている。
。 





^{いっせき}一石をとうじる 


もんだいをなげかける。 

^{うんどうじょう}運動場の^{つか}使い方についての、かの^{けん}じょの^{いけん}意見は^{はな}話し^あ合いに^{いっ}一
^{せき}石をとうじた。 





^き気がちる 

^き気持ちが^{ひと}一つのことには^{しゅうちゅう}しゅうちゅうできない。 

となりのラジカセの^{おと}音に^き気がちって^{べんきょう}べんきょうができない。 



くぎをさす 

まちがえないよう、あいてにきちんとたしかめ、もういちど
ちゅういする。 

ぼくはしゅくだいをよくわすれるので、^{あす}明日こそわすれない
ようにと、くぎをさされた。 



こころ
心にのこる

強いんしょうを受けて、頭からはなれない。わすれられない。

そつぎょうしたあとも、先生の明るいわらい顔が心にのこっている。

もと
元も子もない

損をして、何もかもなくしてしまう。
練習熱心なのはいいが、練習しすぎて、体をこわしては、元も子もないよ。

こしがひくい

人にたいしていばったりせず、いつもていねいであいそがよい。

こしのひくい町長さんは、町の人びとから親しまれている。

くち
口がかたい

たにんに言ってはいけないことは、ぜったい言わない。
あなたは口がかたいから、何でもそうだんできる。

きもにめいじる

心にふかくきぎみつけてわすれない。
先生にしかられたことはきもにめいじて二どとくりかえさないぞ。

いじをはる

自分の考えを、どこまでもおし通そうとする。
妹はこまっているのに、いじをはって、しゅくだいの助けをことわっている。

ふでが立つ

ぶんしょうを書くことが上手である。
姉はふでが立つので、しょうらいは作家になりたいと言って

いる。☞

☞

^{あし}足をのばす☞

のびのびとゆっくり休^{やす}むこと。決めていたところより、もっと遠^{とお}くまで行^いくこと。☞

いつもより足^{あし}をのばして、となりの町^{まち}のデパートで買^かい物^{もの}をした。☞

☞

かぶとをぬぐ☞

とてもかなわないと、こうさんする。☞

きみのもの知^しりには、クラスのみんながかぶとをぬぐ。☞

☞

えりを正^{ただ}す☞

まじめな気持^{きもち}ちになって身^みじまいをただし、きちんとする。☞

ぼくは、いれいひに、えりを正^{ただ}しておまいりをした。☞

☞

^{うま}馬^あが合う☞

おたがいに気持^{きもち}ちがよくあ^あう。☞

わたしとかずこさんとは馬^{うま}があ^あって、しゅくだいやあそびをいつもいっしょにするなかだ。☞

☞

^{あたま}頭^{いた}が痛い☞

心配^{しんぱい}ごとあって、頭^{あたま}が痛^{いた}くなるほど思^{おも}いなやむ。☞

飼^し育^{いく}係^{がかり}になったが、メダカ^{せわ}の世^せ話^わがむずかしくて頭^{あたま}が痛^{いた}い。☞

☞

^{くち}口^だを出す☞

自分^{じぶん}とは関^{かん}係^{けい}のないものごとや話^{はなし}などにわりこむ。☞

兄弟^{きょうだい}げんかに口^{くち}を出^だしても、どうにもならない。☞

☞

あぶらを売^うる☞

しごとのとちゅうでなまけたり、おだ話^{ばなし}などをして時^じ間^{かん}をつぶしたりする。☞

道^{みち}で友^{ゆう}人^{じん}に会^あい、あぶらを売^うっていたら、ピアノのけいこに

おくれてしまった。☞

☞

気がきく☞

細^{こま}かいところに心^{こころ}が行^いきとどく。☞

新聞^{しんぶん}と一緒^{いっしょ}にろうがんきょう^{よう}を用意^いするとは、よく気がきくまごだね。☞

☞

口^{くち}をそろえる☞

大ぜい^{おお}の人が同じ^{ひと}ことを言^いう。☞

チームのゆうしょうには、みんなが口^{くち}をそろえて「ばんざい」とさげんだ。☞

☞

ひざをうつ☞

はっと気がついたことがあったり、かんしんしたりするときのようす。☞

じっと考え^{かんが}こんでいた兄^{あに}は「わかった」と大声^{おおこえ}を出^だし、ひざをうった。☞

☞

我^{われ}を忘^{わす}れる☞

ものごと^きに氣をとられて、夢中^{むちゅう}になってしまう。☞

運動会^{うんどうかい}の紅白^{こうはく}リレーは、大接戦^{だいせつせん}になり、ぼくたちは我^{われ}を忘^{わす}れて応援^{おうえん}した。☞

☞

たねをまく☞

あるものごとをひきおこすげんいんをつくる。☞

けんかのたねをまいたのは弟^{おとうと}のほうだ。☞

☞

心^{こころ}をくたく☞

あれこれと氣^きを使^{つか}ってくしんしたり、しんぱいしたりする。☞

げいじゅつかは、よい作品^{さくひん}をつくらうと心^{こころ}をくたく。